

第6章 自然と調和する住みよいまち

まちなかにみどりがあふれ、そこに人々が集い、思わず歩きたくなる、自然と調和した安全で住みよいまちをめざします。

施策体系

1 土地利用
1 計画的かつ合理的な土地利用の推進
2 所沢らしい景観まちづくりの推進
3 基地返還と跡地利用の促進
2 市街地整備
1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進
2 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進
3 市街地整備の適正な誘導（良好な市街地整備の推進）
3 道路
1 道路整備の推進
2 幹線道路の建設推進
3 生活道路の整備推進
4 歩行者・自転車環境の整備推進
5 道路環境の維持
4 交通政策
1 交通政策の推進と公共交通の充実
2 鉄道輸送の利便性向上
3 駅の安全性・利便性の向上
5 水道
1 経営基盤の強化
2 水資源の確保と有効利用
3 安全な水の安定供給
4 更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践
6 下水道
1 自主財源の確保
2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全
3 災害に強い下水道整備の推進
4 下水道施設の計画的な老朽化対策

7 住宅・住環境

1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

2 適正な公営住宅の管理・運営

3 住生活の安定と質の向上

第1節 土地利用

評価指標

土地利用に関する施策の満足度			都市計画課					
現状値	目標値		R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-							65
単位: %		実績値	13.3	18.4	18.3			

土地利用の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「土地利用」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 令和6年度までに65%をめざすものです。

6-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進

(千円)

最優先	概要	事業名	担当課	指標	既存	R4	1,085,605
				期間: H28 ~ R21	R5	1,108,039	
						R6	1,693,620
						R7	1,950,034
				新規		R4	3,300
				期間: R4 ~		R5	未定
						R6	未定
						R7	未定
優先	概要	樺峰地区の街づくり支援事業	都市計画課	新規		R4	4,770
				期間: R4 ~ R5	R5	4,770	
						R6	
						R7	

6-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進

(千円)

重要	概要	事業名	担当課	指標	既存	R4	1,014
		景観まちづくり推進事業	都市計画課				

6-1-3 基地返還と跡地利用の促進

(千円)

重要	概要	事業名	担当課	指標	既存	R4	619
		基地対策事業	企画総務課				

事業目標

6 1 1 土地利用転換の達成地区数			市街地整備課					
現状値	目標値		R元	R2	R3	R4	R5	R6
H29								
0			1	2	2	2	2	2
単位: 地区		実績値	1	1	1			

土地利用転換の取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度の地区数です。
 目 標: 令和2年度までに2地区をめざすものです。

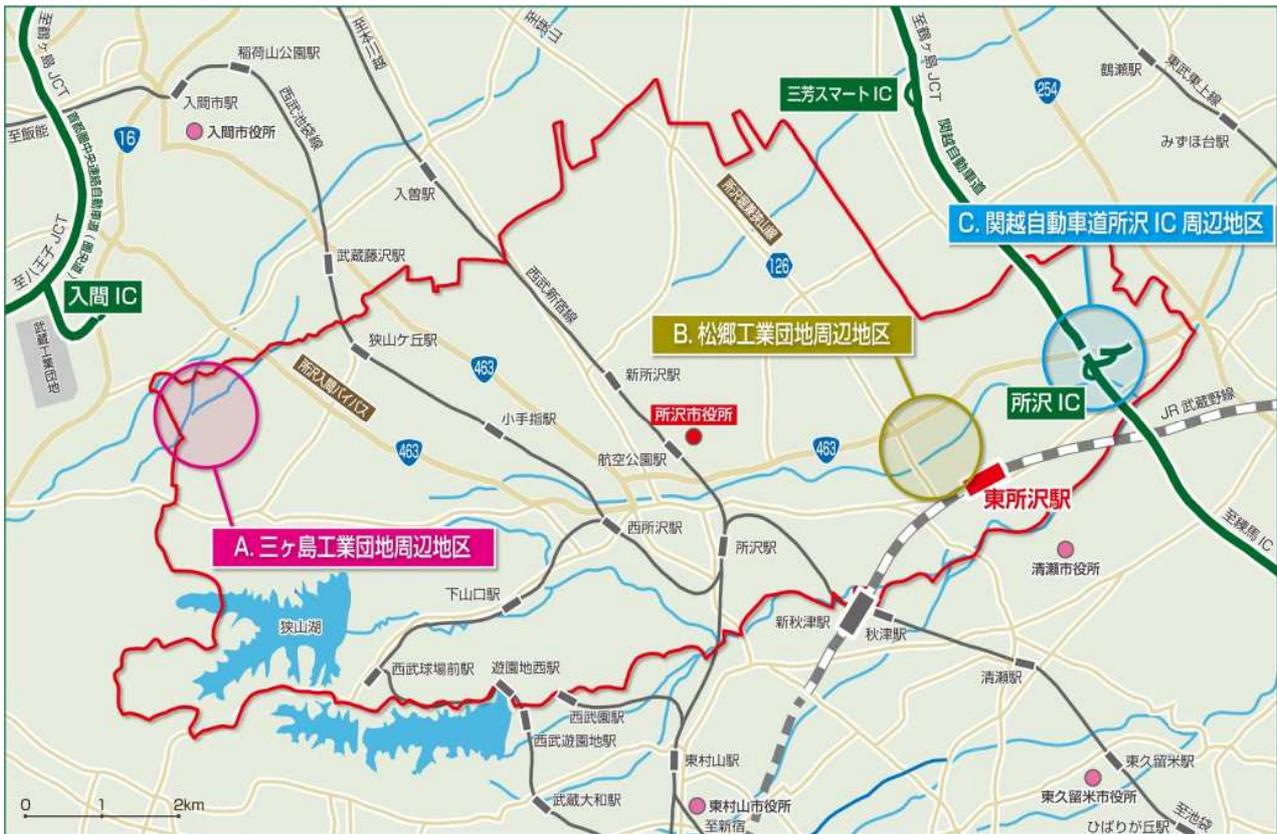
6 1 2 とことこ景観資源の指定件数		都市計画課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	196	199	202	205	208	211	215
目標値							
単位:件	実績値	194	215	未確定			

所沢らしい良好な景観の形成に資するものとしての「とことこ景観資源」の指定件数を測る指標です。
 現 状:平成29年度の指定件数です。
 目 標:令和6年度までに215件の登録をめざすものです。

6 1 3 基地返還に関する要望実施件数		企画総務課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	2	2	3	3	3	3	3
目標値							
単位:件	実績値	3	2	2			

米軍所沢通信基地の返還に向け、米軍及び国に対し返還要望を実施した件数を示す指標です。
 現 状:平成29年度に実施した要望件数です。
 目 標:令和2年度までに3件をめざすものです。

産業導入を想定する「土地利用転換推進エリア」位置図



出典：所沢市の工業団地等産業拠点創出と立地意向に関する調査（平成26年12月）の添付資料

第2節 市街地整備

評価指標

所沢駅の1日平均乗降客数			市街地整備課・所沢駅西口区画整理事務所					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	102,732	目標値	105,000	107,000	109,000	110,000	112,000	114,000
	単位:人	実績値	102,368	78,002	未確定			

本市の表玄関となる所沢駅の利用状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度の1日における平均乗降客数です。
 目 標:令和6年度までに114,000人をめざすものです。



6-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進

(千円)

最優先	概要	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課	新規	R4	66,106
				期間: R4 ~ R10	R5	8,131
	概要	ファルマン通り交差点周辺で進められている市街地再開発事業及び交差点改良事業と一体的に無電柱化の整備を行うことにより、旧町地区における災害時の通行の確保や歩行者の安全で快適な空間の確保、賑わいの創出などに資するものである。	R6	30,271		
			R7	15,780		
	概要	日東地区まちづくり事業	市街地整備課	指標 既存	R4	7,668
				期間: H17 ~	R5	3,403
	概要	組合施行の市街地再開発事業により拡幅整備される都市計画道路の歩道空間について、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの拠点としての活用に向けた整備を進めるとともに、日東地区内の骨格となる道路の整備により人が中心の街づくりを進めるものである。	R6	5,943		
			R7	13,003		
	概要	ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課	既存	R4	225,628
				期間: H26 ~ R5	R5	80,001
	概要	所沢東町地区第一種市街地再開発事業において整備する都市計画道路及び、ファルマン通り交差点周辺の無電柱化整備の時期に合わせて、ファルマン通り交差点の改良整備を行い、交通処理能力と安全性の向上を図るものである。	R6			
			R7			
	概要	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	所沢駅西口区画整理事務所	既存	R4	438,715
				期間: R2 ~ R10	R5	1,950,200
概要	鉄道により分断されている所沢駅東西地区の一体化や慢性的な交通渋滞の解消を図るため、都市計画道路所沢駅ふれあい通り線の整備を推進するものである。	R6	2,200,200			
		R7	2,500,200			
概要	所沢駅西口地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標 既存	R4	111,408	
			期間: H13 ~ R6	R5	792,560	
概要	所沢駅西口土地区画整理事業との一体的施行により、地区内における市街地再開発事業を推進するとともに、駅周辺地域の回遊性を高めるための歩行者動線の整備・検討を進めていくものである。	R6	27,657			
		R7				
概要	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	既存	R4	1,461,000	
			期間: H28 ~ R7	R5	1,010,000	
概要	本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、市街地再開発事業との一体的施行により、都市基盤の整備並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを行うものである。	R6	1,078,900			
		R7	615,243			
重要	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	市街地整備課	既存	R4	6	

6-2-2 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進

(千円)

優先 概要	狭山ヶ丘土地区画整理事業	狭山ヶ丘区画整理 事務所	既存	R4	213,000
			期間: S62 ~ R10	R5	231,313
	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的として、施行面積29.7haにおいて土地区画整理事業を実施する。	R6	338,624		
		R7	339,799		

6-2-3 市街地整備の適正な誘導(良好な市街地整備の推進)

事業目標

6 2 1 事業地区を含む周辺の居住人口(御幸町・東町・日吉町・東住吉)		市街地整備課・ 所沢駅西口区画整理事務所						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	6,594	目標値	6,722	7,437	7,793	7,795	7,797	7,800
単位:人		実績値	6,789	7,207	未確定			

所沢駅西口まちづくり事業及び日東地区まちづくり事業における周辺地域(御幸町・東町・日吉町・東住吉)に居住する人口を示す指標です。
現 状:平成29年度における当該地域の人口です。
目 標:令和6年度までに7,800人をめざすものです。

6 2 2 土地区画整理事業による防災性能の向上を進める面積		都市計画課						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	169.1	目標値	190	210	230	250	270	290
単位:Ha		実績値	220.9	220.9	220.9			

安心・安全に生活できる街づくりをめざして進める土地区画整理事業等の実施により、指定する防火地域、準防火地域の面積を示す指標です。
現 状:平成29年度の指定面積を示しています。
目 標:令和6年度までに290Haをめざすものです。

6 2 3 地区計画・建築協定等の策定地区数		都市計画課・建築指導課						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	37	目標値	39	40	40	42	44	44
単位:地区		実績値	39	39	39			

市街地整備の取り組み状況を示す指標です。
現 状:平成29年度の地区計画・建築協定等の地区数です。
目 標:令和6年度までに44地区をめざすものです。



「所沢市PR空撮動画」より

第3節 道路

評価指標

充実した道路環境を要望する人の割合		建設総務課・道路建設課・ 計画道路整備課・道路維持課						
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
56.2								
単位：%		実績値	20.7	23.7	25.4			
			現状値未滿					

道路環境整備の施策に対する市民要望度を測る指標です。
 現 状：平成29年度の市民意識調査において、今後力を入れてほしい施策として、「道路」に関する項目を選択した人の割合です。
 目 標：毎年度、現状値未滿をめざすものです。



6-3-1 道路整備の推進

(千円)

最優先	概要	北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	R4	373,557
				期間：H6～		R5	574,250
			中心市街地の交通渋滞緩和を図るため、本市の外環状道路に位置付けた国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線までの延長5,500mの道路である。これまでに延長4,672mが開通し、早期の全線開通に向けて建設を進めている。			R6	260,000
						R7	375,000
重要	概要	松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	R4	39,600
				期間：H16～R5		R5	96,923
			新所沢跨道橋通りから狭山市内の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、計画的な整備により、交通の利便性の向上と交通渋滞の緩和、安全の確保を図る。これまで延長890mが開通し、今後は延長526mの区間の整備を進めるものである。			R6	
						R7	
重要	道水路座標管理図面作成事業		建設総務課		既存	R4	3,550
	道水路境界確定事業		建設総務課		既存	R4	4,119
	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業		計画道路整備課	指標	既存	R4	0

6-3-2 幹線道路の建設推進

(千円)

重要	(県) 飯能所沢線道路建設促進事業	計画道路整備課	指標	既存	R4	54,000
----	-------------------	---------	----	----	----	--------

6-3-3 生活道路の整備推進

(千円)

最優先	概要	市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業	道路建設課	指標	既存	R4	87,894
				期間：R2～R7		R5	132,000
			三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、3工区「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢荻」バス停付近までのうち、所沢市分の約368mの区間を整備するものである。			R6	100,000
						R7	100,000
重要	概要	COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	道路建設課	指標	既存	R4	35,000
				期間：H28～R5		R5	50,000
			「ところざわサクラタウン」を拠点施設とする、半径約500m圏内を重点推進エリアとして位置付けられた「COOL JAPAN FOREST」及びその周辺の交通環境整備を行い、交通の円滑化を図るものである。			R6	
						R7	
重要	道路改良事業		道路建設課	指標	既存	R4	243,054
	道路舗装事業		道路建設課		既存	R4	44,100

6-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進

(千円)

優先	自転車レーン整備事業	道路維持課	指標	既存	R4	22,438
			期間: H29 ~		R5	18,876
	概要	歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的として自転車レーンを整備し、安心安全な道路空間を創出する。また「マチごとエコタウン所沢構想」の観点から、「自動車から自転車へ、自転車から徒歩へ」の理念のもと、自転車利用を促進させるものである。			R6	18,561
					R7	25,168

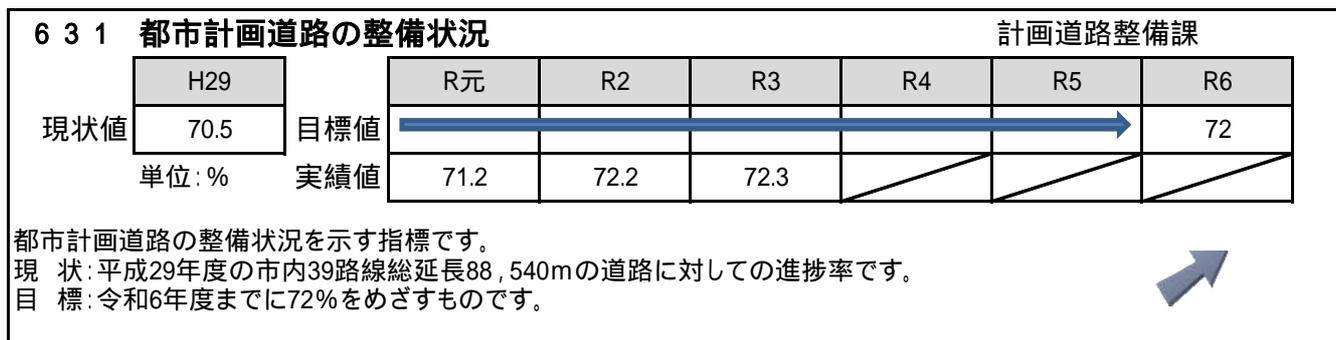
6-3-5 道路環境の維持

(千円)

優先	橋りょう長寿命化修繕事業	道路維持課	指標	既存	R4	82,988
			期間: H26 ~		R5	121,200
	概要	全ての市管理橋りょうについて、計画的な点検、診断、修繕、記録のサイクルを構築するとともに、維持管理費の縮減及び財政負担平準化を図る。令和4年度は、西ヶ谷戸橋修繕のほか2巡目となる法定定期点検・診断業務を実施するものである。			R6	105,500
					R7	180,000
	案内標識等維持管理事業	道路維持課		新規	R4	8,800
			期間: R4 ~		R5	未定
	概要	案内標識の点検を行う。実施した点検結果を踏まえ今後、計画的に修繕を行う「予防保全型」維持管理への転換を図り、予防的な修繕を計画的に行うことでライフサイクルコストの縮減、修繕工事費などの平準化を図るものである。			R6	未定
					R7	未定
	歩きたくなる街路樹づくり事業	道路維持課		既存	R4	55,000
			期間: R3 ~		R5	50,000
	概要	「思わず歩きたくなるステキなマチ」の実現に向けて、街並みと調和し、樹形を整え、木陰を創出するなど、街路樹をより充実させ、歩きやすい歩道を整備するものである。			R6	65,000
					R7	50,000
街路樹管理事業	道路維持課		既存	R4	190,000	
		期間: S49 ~		R5	未定	
概要	都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的に剪定、除草を行う。また、必要に応じて樹木診断を行うなど、適切な街路樹の管理を行うものである。また、街路樹の樹冠拡大計画を策定し、緑陰の確保に努めていくものである。			R6	未定	
				R7	未定	

重要	道路照明灯維持管理事業	建設総務課		既存	R4	139,057
	防犯灯維持管理・補助事業	建設総務課		既存	R4	44,361
	道路施設維持管理事業	道路維持課		既存	R4	705,000

事業目標



6 3 2 幹線道路(バイパス)の整備状況		計画道路整備課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	0	→					1,679
単位:m	実績値	433	433	433			

所沢市と東京都を結ぶ県道(バイパス)の整備状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度の整備延長を示しています。
 目 標:令和6年度までに1,679m延長をめざすものです。



6 3 3 生活道路拡幅整備延長		道路建設課					
-		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	-	→					4,000
単位:m	実績値	723	1,131	未確定			

道路整備の取り組み状況を示す指標です。
 現 状:令和元年度からの整備済み道路延長を示しているため、現状値は空欄です。
 目 標:令和6年度までに4,000mの延長をめざすものです。



6 3 4 自転車レーンの整備延長		道路維持課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	770	3,337	5,907	7,494	9,334	10,474	12,294
単位:m	実績値	3,697	5,525	5,525			

自転車レーンの整備状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度における進捗状況を示しています。
 目 標:令和6年度までに12,294mをめざすものです。



6 3 5 橋りょう長寿命化修繕の箇所数		道路維持課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	2	1	1	1	1	1	1
単位:橋	実績値	1	1	1			

橋りょうの長寿命化修繕の箇所数を示す指標です。
 現 状:平成29年度における修繕箇所を示しています。
 目 標:令和6年度までに6橋の修繕をめざすものです。



北野下富線(3工区開通)



COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業
 (市道2-572号線の道路拡幅と歩道設置)

第4節 交通政策

評価指標

交通について不便と感じる人の割合		都市計画課					
現状値	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-	45	43	41	39	37	35
単位: %	実績値	17.3	18.5	19.2			

交通政策の施策に対する市民要望度を測る指標です。
 市民意識調査において、今後力を入れてほしい施策として、「交通政策」に関する項目を選択した人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 毎年度2ポイントの減少をめざすものです。

6-4-1 交通政策の推進と公共交通の充実

(千円)

最優先	地域循環乗合ワゴン(ところワゴン)実証運行事業	都市計画課	既存	R4	46,013
			期間: H26 ~	R5	55,921
概要	住まいと駅周辺の都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの構築に向けた取組として、新たな公共交通である乗合ワゴン(ところワゴン)の実証運行を行うものである。令和4年度は、柳瀬地区において実証運行を開始する。		R6	55,921	
			R7	55,921	

優先	市内循環バス(ところバス)運行事業	都市計画課	指標	既存	R4	200,919
			期間: H10 ~	R5	196,115	
概要	平成10年度より公共施設の利便性向上、市内の交通不便地域の解消及び高齢者・障害者等の交通弱者対策を図ることを目的として運行している。令和4年度は、三ヶ島地区でのところワゴンの実証運行の実施に伴い、路線見直しを行う。		R6	189,115		
			R7	175,115		

6-4-2 鉄道輸送の利便性向上

6-4-3 駅の安全性・利便性の向上

(千円)

最優先	西所沢駅西口改札口開設事業	防犯交通安全課	指標	既存	R4	57,298
			期間: H17 ~ R5	R5	未定	
概要	平成17年に改札口開設に関する請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、令和3年度は、転回広場修正設計及び関係機関との協議を行った。令和4年度は、「西所沢駅西口開設整備計画」に基づき、駅舎及び周辺の安全対策に係る関係機関との協議等を行う。		R6			
			R7			

事業目標

6 4 1 市内の地域公共交通(バス)年間利用者数		都市計画課					
現状値	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
H29 10,734		10,754	10,764	10,774	10,784	10,794	10,804
単位: %	実績値	10,283	7,493	未確定			

市内の地域公共交通(路線バス・ところバス)の充実度を示す指標です。
 現 状: 平成29年度における市内の地域公共交通(バス)年間利用者数を示しています。
 目 標: 毎年度1万人の利用者数増をめざすものです。

6 4 2 市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数			都市計画課					
	H28		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	413	目標値	419	421	423	425	427	429
	単位:千人	実績値	415	304	未確定			

市内の鉄道の充実度を示す指標です。
 現 状:平成28年度における市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数を示しています。
 目 標:毎年度2千人の乗降者数増をめざすものです。



6 4 3 西所沢駅西口改札口開設事業の進捗度			防犯交通安全課					
	-		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	-	目標値	基本協定	設計	設計	工事	工事・開設	
	単位: -	実績値	協議中	協議中	未確定			

西所沢駅西口改札口の開設に関する取り組み状況を示す指標です。
 現 状:令和元年度から事業目標値修正のため、現状値は空欄です。
 目 標:令和5年度までに西所沢駅西口改札口の開設をめざすものです。




ところんのところバス

第5節 水道

評価指標

水道事業に関する施策の満足度			総務課					
現状値	目標値	実績値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-		100	100	100	100	100	100
単位: %			61.0	64.6	63.3			

水道事業の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「水道」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 毎年度100%をめざすものです。

6-5-1 経営基盤の強化

(千円)

優先	概要	自主財源確保促進事業(長期的債券運用・未利用地利活用・旧水道庁舎用地利活用・検針票広告)	経営課 窓口サービス課	指標	既存	R4	0
				期間: H29 ~		R5	0
		長期的な社会貢献債等の購入・運用のほか、未利用地の売却・貸付け及び旧水道庁舎跡地の貸付けによる水道事業資産の有効活用、検針票への民間事業者等の広告掲載により、自主財源を確保し、企業経営の健全化に努めるものである。			R6	0	
					R7	0	

6-5-2 水資源の確保と有効利用

(千円)

優先	概要	取水井保全事業	給水管理課	指標	既存	R4	11,770
				期間: H5 ~		R5	11,330
		湯水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を行い、地下水の揚水量を確保するものである。			R6	12,800	
					R7	12,600	
		出前教室実施事業	総務課		既存	R4	30
		水道及び下水道の理解を深めるとともに、水の大切さに気付き、地球の環境保全に対する意識を高めることを目的に、市内小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、水道及び下水道の出前教室を行うものである。			期間: H28 ~	R5	31
					R6	32	
					R7	33	

6-5-3 安全な水の安定供給

(千円)

最優先	概要	浄水場整備事業(西部浄水場更新工事)	給水管理課		新規	R4	7,200	
				期間: R4 ~		R5	56,639	
		アセットマネジメント手法を用いて将来の更新需要を分析し、老朽化した当該施設の耐震性やその規模が適正かを検討した結果、ダウンサイジングを見据えた西部浄水場の全体の再構築を行い、配水池や管理棟などすべての場内施設を計画的に更新するものである。			R6	未定		
					R7	未定		
		水道管整備事業	水道建設課		既存	R4	2,784,961	
		老朽化した水道管(口径400mm以上の大口径管、医療機関等12施設への重要給水施設管路を含む口径400mm未満の小口径管)の耐震化を含めた更新を行うものである。また、区画整理事業等に伴う配水管の布設を必要に応じて実施する。			期間: H23 ~	R5	2,511,800	
					R6	2,521,800		
					R7	2,531,900		
		浄水場整備事業(耐震補強工事)	給水管理課		指標	既存	R4	66,184
		浄水場の着水井等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。			期間: H21 ~	R5	64,200	
					R6	57,100		
					R7	65,200		

優先	浄水場施設・設備更新事業	給水管理課	既存	R4	36,428
			期間: H23 ~	R5	647,800
	概要	アセットマネジメント手法を用いて将来の更新需要を分析し、各浄水場の電気設備やポンプ設備などの水道施設を計画的に更新するものである。		R6	766,000
				R7	856,200
	イメージアップ事業(とこざわ水物語発行)	経営課	既存	R4	4,341
			期間: R元 ~	R5	4,366
概要	水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより「事業の見える化」に努め、公営企業としてイメージアップ等に取り組むものである。広報紙は、年2回を発行する。		R6	4,341	
			R7	4,341	

6-5-4 更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践

事業目標

6 5 1 資産の有効活用による収益額		経営課					
		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	目標値	1,074	1,127	1,183	1,242	1,304	1,369
実績値		1,765	1,270	未確定			
単位: 万円							

本来業務への影響等を十分に勘案しつつ、事業用地の跡地の売却や貸付など、企業用資産の有効活用を図り、経営の活性化に取り組んでいることを判断する指標です。
 現 状: 平成30年度から事業開始のため、現状値は空欄です。
 目 標: 平成30年度から毎年約5%の増収をめざすものです。

6 5 2 地下水の揚水量		給水管理課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	412	350	350	350	350	350	350
実績値		333	428	未確定			
単位: 万m ³ /年							

年間に汲み上げる地下水の揚水量で、水の安定供給及び地下水の水質を保全するための取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度に汲み上げた地下水の揚水量です。
 目 標: 毎年度350万m³以上の地下水揚水量をめざすものです。

6 5 3 配水池の耐震化率		給水管理課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	71.7	74.5	93.5	95.1	100	100	100
実績値		76.1	87.0	95.1			
単位: %							

水を安定供給するための配水池耐震対策に対する取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度までに耐震対策が完了している配水池容量の割合です。
 目 標: 令和4年度中に100%をめざすものです。

6 5 4 経常収支比率		経営課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	110	110	110	110	110	110	110
実績値		110	97.4	未確定			
単位: %							

経常費用に対する経常収益の割合を示すもので、財政の健全化への取り組みの成果を測る指標です。
 現 状: 平成29年度における経営の健全性を示す割合です。
 目 標: 毎年度、平成29年度の実績値110%の継続をめざすものです。

第6節 下水道

評価指標

下水道事業に関する施策の満足度				総務課			
現状値	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-	100	100	100	100	100	100
単位: %	実績値	56.0	57.4	56.1			

下水道事業の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「下水道」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 毎年度100%をめざすものです。

6-6-1 自主財源の確保

(千円)

最優先	イメージアップ事業(マンホールサミット開催)	経営課 下水道維持課	既存	R4	9,316
			期間: R2 ~	R5	
	概要	コロナ禍で開催延期となった「第10回マンホールサミットin所沢」を、ところざわサクラタウン等で実施するものである。国内外の幅広い層に、日本が世界に誇るクールなマンホール蓋の魅力を発信し、下水道事業のイメージアップと「見える化」を推進する。			
優先	自主財源確保促進事業(マンホール蓋広告・イルミネーションマンホール蓋広告・検針票広告)	経営課 窓口サービス課 下水道維持課	指標 既存	R4	6,391
			期間: H30 ~	R5	6,289
	概要	上下水道局の公有財産であるマンホール蓋(デザインマンホール・イルミネーションマンホール)や検針票を広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより、自主財源を確保し、企業経営の健全化に努めるものである。			
				R6	6,322
				R7	6,272
	イメージアップ事業(ところざわ水物語発行)	経営課	既存	R4	4,341
			期間: R元 ~	R5	4,366
概要	下水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより「事業の見える化」に努め、公営企業としてイメージアップ等に取り組むものである。広報紙は、年2回を発行する。				
				R6	4,341
				R7	4,341
重要	イメージアップ事業(上下水道施設見学)	経営課	既存	R4	141

6-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全

(千円)

最優先	下水道管渠布設事業	下水道整備課	指標 既存	R4	2,598,633
			期間: H15 ~ R7	R5	1,360,007
	概要	第1次市街化調整区域下水道整備計画に基づく第4期整備事業(令和6年度まで)として整備区域の拡大を図るものである。また、環境クリーン部の依頼に基づく第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業として、汚水管布設を進める。			
重要	受益者負担金賦課徴収事業	下水道維持課	既存	R4	462

6-6-3 災害に強い下水道整備の推進

(千円)

最優先	雨水浸透化事業	下水道整備課	指標 既存	R4	80,643
			期間: H30 ~ R6	R5	74,660
	概要	都市化の進展やゲリラ豪雨の増加で下水道による雨水排水が困難な状況となり、市内各所で内水被害が発生していることから、被害の軽減を図るため、道路雨水樹浸透化等を進める。対象地区は、内水被害箇所を記した内水ハザードマップを活用し選定する。			
				R6	74,660
				R7	

最優先	下水道地震対策事業	下水道整備課		既存	R4	200,000	
			期間: H21 ~ R9		R5	203,293	
	概要	所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている管渠やマンホール等の耐震化を進めるものである。				R6	336,593
					R7	238,143	
重要	下水道維持管理事業	下水道維持課		既存	R4	2,362,497	
	都市下水路維持管理事業	下水道維持課		既存	R4	77,479	

6-6-4 下水道施設の計画的な老朽化対策

(千円)

最優先	雨天時浸入水対策事業	下水道維持課 下水道整備課 窓口サービス課		既存	R4	158,001	
			期間: R3 ~		R5	241,591	
	概要	雨水が汚水管へ流入することによるマンホール蓋の飛散、溢水、宅地内への逆流等の被害を防ぐため、汚水管の更生・布設替え等により汚水管へ流入する雨水の量を抑制し、下流への流量を低減させるものである。				R6	111,091
					R7	616,991	
優先	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課		指標	既存	R4	276,245
			期間: H23 ~		R5	290,856	
	概要	所沢市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、予防保全を中心とした計画的な下水道管渠の維持管理や更生・布設替え等を行い、事業費の平準化を図るとともに、下水道機能を持続的に維持するものである。				R6	274,326
					R7	713,444	

事業目標

6 6 1 有料広告用デザイン入りマンホール蓋の設置箇所数(累計)		下水道維持課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	10	20	30	40	50	60	70
単位:箇所	実績値	27	61	61			

広告媒体としてのデザイン入りマンホール蓋設置の進捗状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度は、所沢市文化振興事業団との協定によりモデル事業として取り組んだ設置箇所数です。
 目 標:毎年度10箇所の増加をめざすものです。

6 6 2 下水道普及率		下水道整備課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	93.7	94.2	94.4	94.5	94.6	94.7	94.8
単位:%	実績値	94.4	94.5	未確定			

生活環境の改善と公共用水域の水質保全の向上を示す指標です。
 現 状:平成29年度の本市の人口に対して公共下水道を使用できる人口の割合です。
 目 標:令和6年度までに94.8%をめざすものです。

6 6 3 道路雨水樹の浸透化数(累計)

下水道整備課

	-		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	-	目標値	240	360	480	600	720	840
	単位:箇所	実績値	240	360	570			

雨水を地下に浸透させることにより地球に優しく、さらに、雨水流出抑制を図り、浸水被害の軽減につながる道路雨水樹浸透化の状況を示す指標です。

現 状:道路雨水樹の浸透化は平成30年度からの新規事業のため、現状値は空欄です。

目 標:毎年度120箇所の浸透化の増加をめざすものです。



6 6 4 下水道管渠の更生・布設替工事延長(累計)

下水道維持課

	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	214	目標値	644	870	1,588	2,308	3,018	3,728
	単位:m	実績値	799	1,181	1,411			

長寿命化のための更生・布設替工事延長を示す指標です。

現 状:平成29年度に実施した工事延長を示しています。

目 標:令和6年度までに3,728mをめざすものです。

既設の下水管内面に新たに管を構築する工法です。



第7節 住宅・住環境

評価指標

住宅・住環境に関する施策の満足度			都市計画課					
現状値	目標値		R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-		66	66.5	67	67.5	68	68.5
単位：%	実績値		42.9	47.5	48.0			

住宅・住環境の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「住宅・住環境」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状：令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標：令和6年度までに68.5%をめざすものです。



6-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

(千円)

重要	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	建築指導課			既存	R4	2,000
-----------	-------------------	-------	--	--	----	----	-------

6-7-2 適正な公営住宅の管理・運営

(千円)

優先	概要	事業名	担当課	指標	新規	R4	52,403
				期間：R4		R5	
	市が賃借している市営住宅上安松団地の用地の一部について、土地所有者より買取希望が示されたことから用地を取得するものである。	市営住宅上安松団地用地取得事業	市街地整備課			R6	
						R7	
		市営住宅運営事業	市街地整備課	指標	既存	R4	199,334
				期間：S27～		R5	207,816
	住宅に困窮する低所得者に良好な居住環境と低廉な家賃の住宅を提供するため、管理代行による市営住宅の適正かつ効率的な運営や市営住宅の借り上げ事業等を行うものである。					R6	203,437
						R7	200,137

6-7-3 住生活の安定と質の向上

(千円)

優先	概要	事業名	担当課	指標	既存	R4	1,000
				期間：R3～		R5	1,000
	分譲マンションの管理には区分所有者間での合意形成を必要とし、高経年マンションの急増も見込まれることから、良好な居住環境を確保するため、実態調査や届出により管理状況を把握し、マンション管理士等の専門家派遣により、管理の適正化を図るものである。	マンション管理適正化支援事業	都市計画課			R6	1,000
						R7	1,000

事業目標

671 長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数			建築指導課					
現状値	目標値		R元	R2	R3	R4	R5	R6
H29 280			250	250	250	250	250	250
単位：件	実績値		256	251	未確定			

環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標です。
 現 状：平成29年度の長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数を示しています。
 目 標：毎年度250件以上をめざすものです。



672 市営住宅の入居戸数		市街地整備課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	773	目標値	777	779	781	783	785	787
	単位:戸	実績値	722	697	未確定			

市営住宅の有効活用に向けた全797戸中の入居戸数を示す指標です。
 現 状:平成29年度の入居戸数を示しています。
 目 標:令和6年度までに787戸をめざすものです。



673 マンション管理無料相談会における相談受付件数		都市計画課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	19	目標値	25	28	31	34	38	42
	単位:件	実績値	27	18	未確定			

マンション管理士による民間マンション居住者等への支援施策の成果を示す指標です。
 現 状:平成29年度の相談受付件数を示しています。
 目 標:令和6年度までに42件をめざすものです。



市営住宅（東所沢和田団地）